

介護サービス施設・事業所の設備投資に関する調査結果の概要

- 目的
 - ・ 今後、消費税率の引上げが行われることを踏まえ、介護サービス施設・事業所における設備投資の状況を把握し、介護保険サービスに関する消費税の取扱い等について検討を行うための基礎資料を得ることを目的とする。
- 調査対象期間
 - ・ 原則として平成24年3月までの直近5事業年(度)
- 調査項目
 - ・ サービス別、資産1件当たり取得価額別の投資総額や投資件数の傾向
 - ・ 資産種類(建物、構築物、介護用機器、医療機器)別の投資総額や投資件数の傾向
 - ・ 年度別の総収入に対する投資総額の比率
 - ・ 介護用機器の分類別の投資総額や投資件数の傾向 等
- 回収率

	客体数	調査票		固定資産台帳	
		回答数	回答率	回答数	回答率
合計	4,423	873	19.7%	105	2.4%

1. 各年度の投資総額の状況

- 調査に回答した873施設・事業所の投資総額は、平成21年度58.8億円、平成22年度163.1億円、平成23年度100.1億円であり、年度による変動が大きい。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
介護老人福祉施設(n=118)	5.5億円	39.9億円	15.6億円
介護老人保健施設(n=57)	1.4億円	27.4億円	1.3億円
介護療養型医療施設(n=76)	8.9億円	3.2億円	14.6億円
訪問介護事業所(n=48)	0.1億円	0.4億円	0.9億円
通所介護事業所(n=45)	0.2億円	0.5億円	1.8億円
地域密着型介護老人福祉施設(n=55)	30.1億円	44.1億円	41.5億円

2. 1件当たり取得価額が高額な資産に対する投資の状況

- 資産1件当たりの投資実績をみると、件数ベースでは、いずれのサービスにおいても、1件当たり500万円未満の資産に対する投資が全体の8割以上を占めている。
- 1件当たり1億円以上の資産に対する投資の状況をみると、介護老人福祉施設を始め6サービスで総額ベースの構成比が全体の5割を超えているが、件数ベースの構成比では、いずれのサービスも0～2%台となっている。
- 1件当たり1億円以上の資産に対する投資については、施設サービスに若干の介護用機器があるほかは、ほぼすべてが建物となっている。

1件当たり1億円以上の資産に対する投資の状況

	計		建物		介護用機器		
	件数	総額	件数	総額	件数	総額	機器分類
介護老人福祉施設(n=118)	16件(0.4%)	44.0億円(52.2%)	15件(14.2%)	42.7億円(81.8%)	1件(0.0%)	1.3億円(4.4%)	住宅環境設備
介護老人保健施設(n=57)	8件(0.4%)	45.9億円(75.0%)	6件(26.1%)	42.7億円(96.5%)	2件(0.1%)	3.1億円(20.2%)	住宅環境設備
介護療養型医療施設(n=76)	8件(0.4%)	18.9億円(48.4%)	4件(8.9%)	13.6億円(75.2%)	3件(0.2%)	4.0億円(31.0%)	住宅環境設備
地域密着型介護老人福祉施設(n=55)	54件(1.5%)	137.2億円(79.4%)	51件(31.9%)	132.6億円(93.2%)	2件(0.1%)	2.2億円(8.8%)	住宅環境設備

(参考) 医療の状況

1件当たり1億円以上の資産に対する投資の状況

・病院(n=142): 499件(0.7%) 1,861億円(48.5%) (建物192件(2.5%) 894億円(64.7%)、器械備品271件(0.5%) 825億円(37.3%))

※ カッコ内の割合は、件数、総額それぞれの全体における構成比である。

3. 総収入に対する投資額比率の状況

- 各年度の投資総額をみると、いずれのサービスにおいても、年度間の変動が大きくなっている。
- 総収入に対する投資総額の比率は概ね数%～1割程度であり(地域密着型サービスなど一部のサービスを除く)、いずれのサービスにおいても、年度間の変動が大きくなっている。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
介護老人福祉施設(n=118)	1.5%	10.2%	3.9%
介護老人保健施設(n=57)	0.6%	10.8%	0.5%
介護療養型医療施設(n=76)	1.0%	0.3%	1.6%
訪問介護事業所(n=48)	0.6%	1.5%	3.1%
通所介護事業所(n=45)	0.7%	1.6%	5.8%
地域密着型介護老人福祉施設(n=55)	101.3%	82.5%	48.5%

(参考) 医療の状況

総収入に対する投資総額比率

・病院(n=126):7.3%(H21年度)→10.5%(H22年度)→8.9%(H23年度)

4. 資産種類別の投資の状況

- 投資実績を資産種類別にみると、いずれのサービスにおいても、建物、介護用機器に対する投資が多く、合計で総額・件数ベースともに概ね8割以上を占めている。

	合計		建物		介護用機器	
	件数	総額	件数	総額	件数	総額
介護老人福祉施設(n=118)	4,124件(100%)	84.4億円(100%)	106件(2.6%)	52.2億円(61.9%)	3,944件(95.6%)	30.6億円(36.3%)
介護老人保健施設(n=57)	1,789件(100%)	61.2億円(100%)	23件(1.3%)	44.3億円(72.4%)	1,734件(96.9%)	15.5億円(25.3%)
介護療養型医療施設(n=76)	1,881件(100%)	39.0億円(100%)	45件(2.4%)	18.0億円(46.2%)	1,496件(79.5%)	13.0億円(33.4%)
訪問介護事業所(n=48)	87件(100%)	1.8億円(100%)	8件(9.2%)	0.2億円(11.9%)	78件(89.7%)	1.6億円(87.6%)
通所介護事業所(n=45)	155件(100%)	3.7億円(100%)	13件(8.4%)	2.2億円(60.5%)	137件(88.4%)	1.2億円(33.3%)
地域密着型介護老人福祉施設(n=55)	3,646件(100%)	172.7億円(100%)	160件(4.4%)	142.2億円(82.3%)	3,417件(93.7%)	24.5億円(14.2%)

5. 介護用機器に対する投資の状況

- 機器分類別に資産の状況を見ると、件数ベースでは、「車両」を除き、ほぼすべての機器分類で、1件当たり100万円未満の資産の占める割合が高くなっている。
- 一方、総額ベースでみると、「住宅環境設備」で1件当たり500万円以上の資産に対する投資の占める割合が高くなっており、特に施設サービス、地域密着型サービスにおいて同様の傾向となっている。

住宅環境設備に対する投資の状況

	介護老人福祉施設(n=118)		介護老人保健施設(n=57)		介護療養型医療施設(n=76)		地域密着型介護老人福祉施設(n=55)	
	件数	総額	件数	総額	件数	総額	件数	総額
1億円以上	1件(0.1%)	1.3億円(7.7%)	2件(1.2%)	3.1億円(30.4%)	3件(1.1%)	4.0億円(49.1%)	2件(0.6%)	2.2億円(13.9%)
5,000万円～1億円未満	7件(0.9%)	4.7億円(26.6%)	1件(0.6%)	0.8億円(7.8%)			3件(0.9%)	2.2億円(14.5%)
1,000万円～5,000万円未満	35件(4.6%)	7.6億円(43.6%)	17件(10.2%)	3.3億円(31.9%)	10件(3.5%)	1.8億円(22.4%)	31件(8.9%)	7.5億円(48.5%)
500万円～1,000万円未満	13件(1.7%)	0.9億円(5.2%)	21件(12.7%)	1.5億円(14.9%)	12件(4.2%)	0.9億円(10.3%)	19件(5.5%)	1.4億円(9.0%)
100万円～500万円未満	79件(10.3%)	1.5億円(8.7%)	56件(33.7%)	1.3億円(12.6%)	49件(17.3%)	0.9億円(11.4%)	71件(20.5%)	1.7億円(10.7%)
100万円未満	634件(82.4%)	1.5億円(8.3%)	69件(41.6%)	0.2億円(2.4%)	209件(73.9%)	0.6億円(6.9%)	221件(63.7%)	0.5億円(3.4%)
合計	769件(100%)	17.5億円(100%)	166件(100%)	10.3億円(100%)	283件(100%)	8.2億円(100%)	347件(100%)	15.4億円(100%)

※ 住宅環境設備:空調設備、電気設備、スプリンクラー、ナースコール設備、エレベーター 等

- 介護サービス施設・事業所の高額な投資は、建物が太宗を占めており、医療と比べて、総額、件数ともに小さい傾向にある。
- 投資総額、収入に対する投資額比率ともに、年度による変動が大きいと考えられる。